

いわみ 議会だより



9月定例会

- 2 8月1日豪雨による
災害復旧費2400万円を計上
- 3 平成24年度決算審査の状況
- 6 一般質問 5議員が町政を質す^{ただ}
- 12 還暦式に参加した皆さんの声

蒲生地区大運動会

8月1日豪雨による災害復旧費 2400万円を計上



豪雨による災害（8月1日小田地区）

9月定例会を、9月17日から30日まで14日間の会期で開きました。
一般会計補正予算など6議案を町長提案通り可決し、平成24年度決算を認定しました。
前年度決算は9月定例会で提案され、12月定例会で認定していましたが、今年度から9月定例会で審査することにしました。

主な議案の概要・質疑

一般会計補正予算

9078万円を増額し、
予算総額を68億8870
万円としました。

歳出の主なもの

8月1日豪雨による災害
復旧事業費
2400万円

林業振興費

100万円増
林道外川線、法正寺
線などの土砂流出が、
災害補助の対象規模と
ならないため、林道維
持修繕のなかで対応す
る。

農地農業用施設災害復
旧費 1500万円

外邑地内で発生した
災害の応急工事のため
町道唐川線の側溝の雨
水が災害の原因と推定
されることから、地元
負担金を徴収せず施行
する。

公共土木施設災害復旧
費 800万円

町道唐川線路肩の応
急工事のため。

中山間小集落活性化支援
事業費 382万円

鳥越どんづまりハウ
ス再生のための備品購
入を助成する。

宇治ライスセンター改修
支援事業費 483万円

老朽化した乾燥機な
どの更新による利用農
家の負担軽減と米の産
地化推進のため、農協
に事業費の3割を助成
する。

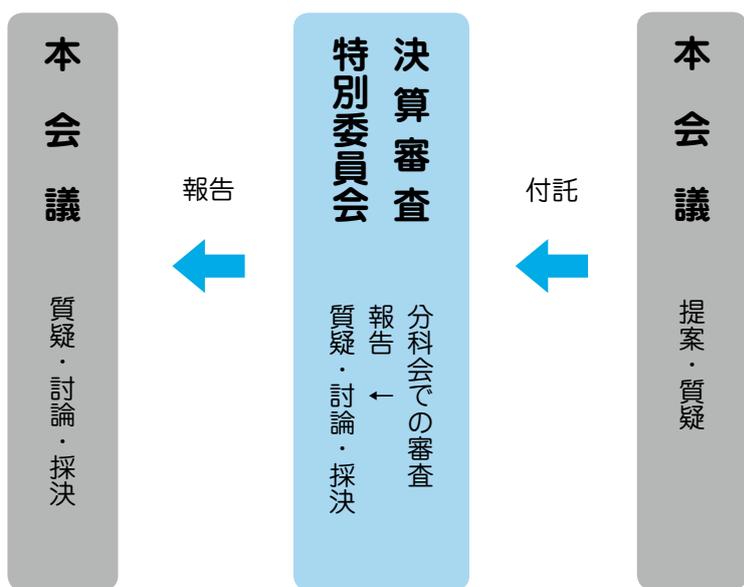


どんづまりハウスでの試食会（10月19日）

平成24年度

決算審査の状況

決算審査の流れ図



本会議での質疑

一般会計

【歳入】

問 経常収支比率が92・6パーセントとなったが、岩美中学校整備事業債の満期一括償還による9200万円などの特殊事情を除くとどれくらいになるか。

答 岩美中学校整備事業債の一括償還、臨時財政対策債及び福祉事務所事務経費という昨年度の特異要因の影響を除くと、経常収支比率は約87・8パーセントになる。

問 町税の未納者は税金だけでなく、他会計の負担もあると思う。未納者の個別の状況を把握しているか。

答 生活困窮によって払うことができないのか、そうではないのかという点も含めて、関

係課が連携をとりながら未納者と話し合い、分納の誓約書の提出を促し、本主に困窮している方には福祉につなぐよう、指示をしている。

問 インターネット公売の実績はどうか。

答 24年度中のインターネット公売に2回参加し、差し押さえた金額は16万6851円。

問 固定資産税の法人の割合は減少傾向にあるのではないかと思うが、実態はどうか。

答 土地、家屋、償却資産は固定資産税を課税しているが、土地、家屋の法人と個人の割合がどうかという資料はない。償却資産は、ほとんど法人と思われる。

24年度の固定資産税のなかで償却資産の割合は、20パーセント程度と

思われる。

【歳出】

問 (商工費) 山陰海岸ジオパークは来年再審査に臨むが、振興事業の件数が少ない。課題は何か。

答 24年度の振興事業は、認定が1件とさみしい。今年度は、推進の機運を盛り上げていく取り組みに、町民が参画しやすいよう制度改正するなど、引き続き見直しを進めていきたい。

24年度 会計別決算額

(単位：百万円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引
一般会計	6,563	6,450	113
住宅新築資金等貸付特別会計	2	2	0
代替バス運送事業特別会計	31	31	0
後期高齢者医療特別会計	132	131	1
国民健康保険特別会計	1,523	1,444	79
集落排水処理事業特別会計	115	115	0
公共下水道事業特別会計	354	354	0
介護保険特別会計	1,473	1,458	15
訪問看護ステーション特別会計	40	39	1
水道事業会計	231	227	4
病院事業会計	2,035	1,962	73

決算審査特別委員会での質疑

一般会計

【歳入】

問 町が参加している鳥取県地方税滞納整理機構の町税徴収の成果はどうか。

答 鳥取県地方税滞納整理機構では、個別の方針会議や他市町の事例を通して徴収の能力向上が図られており、また、機構による進捗管理と共同での滞納整理により、効果が上がっている。

問 納税貯蓄組合の強化策は。

答 納税貯蓄組合の徴収率は他の徴収より3.1パーセント高く、徴収の安定確保のうえで重要である。

組織拡大を図るため見直しを行い、助成要件を組合員20人から5世帯以上に改め、新規加入世帯

には、1世帯千円の助成を行っている。
24年度は新規加入世帯が4世帯あったものの、納税貯蓄組合数としては4組合の減となっている。

意見 歳入の大切な自主財源であり、更に徴収努力をするよう。

【歳出】

(民生費)

問 開設後2年を経過した福祉事務所の現況はどうか。

答 法令に定められたとおり適正に事務を進めており、財政面においても、保護費や運営経費は国庫負担金及び特別交付税で措置されている。

意見 保護費などの支給決定にあたっては、書類だけでなく実態の把握に努めるべきだ。

答 ケースワーカーが定期的に訪問して、面接によって実態を把握するとともに、民生児童委員など関係者から情報を収集し、支給決定を行っている。



放課後児童クラブ（南小のびっ子クラブ）

問 放課後児童クラブの運営における課題は。

答 近年、障がい児の受け入れが増えており、指導員においては県が主催するセミナーなどに積極的に参加し研修するなど対応に努めている。

(衛生費)

問 副反応が問題となっている子宮頸がんワクチン接種の今後の対応はどうか。

答 本町では接種者の副反応の報告はなく、厚生労働省と県はワクチン接種の予防効果があるとしており、継続したいと考えている。

接種者及び保護者への有効性・危険性の周知を図った上で、接種は本人の判断で行っている。

問 ごみ減量のため、さまざまな施策を講じているが、実績として減量化が進んでいない。この施策は本町にあったものとなっているか。



担架を使つての避難訓練（田後地区9月10日）

答 総合計画で定めた減量目標の達成に向け、現在、生ごみ、ミックスペーパー類の分別に取り組んでいる。

そのための手段としてママサポートの導入促進やミックスペーパー類の回収を積極的に進めたい。

(農林水産業費)

問 岩美町振興公社の業務が道の駅の業務と重複するが、どのように棲み分けをするのか。

答 岩美町振興公社も道の駅の設立協議会に参画しており、運営形態を検討していく中で、今後の公社の在り方も検討・協議していく予定である。

(商工費)

問 浦富海岸元気フェスティバルの花火の打ち上げ数を増やし、もっと力を入れてほしい。

答 執行部でよく検討したい。

(土木費)

問 老朽化している空き家対策として、解体も住宅新築・リフォーム資金助成事業の助成対象にしては。

答 空き家の解体は必要だが、本事業の対象にすることは難しく、今後、別建ての制度を考えていかななくてはならない。

(消防費)

問 自主防災組織の状況はどうか。

答 地区により取り組み状況に温度差が見られ、地域の代表者などのリーダーシップも必要だが、町が積極的に関わる中で、早期に全町で組織化するよう取り組む。

(教育費)

問 少人数学級編制の効果や今後の取り組みは。

答 特に保育所から小学校への新1年生の適応や中学生の不登校対策に効果を上げており、今後も各学校の教室数を把握し

たうえで、平成27年度には小・中学校の全学年で、30人学級の完全実施に取り組みたい。

問 若者交流サロンの活動状況は。

答 24年度は会合4回、交流会3回、ボランティア活動2回の実施と、県連合青年団研修会に参加した。

地域で活動を行っている青年団体にも呼びかけ、活動の充実を図っていききたい。

代替バス特別会計

意見 運賃を抑える努力と、オンデマンド方式の研究などさらなるサービス向上、改善に取り組まれない。

国保特別会計

問 低下の傾向にある国民健康保険税の収納率の向上対策は。

答 関係課との情報の共有化を図り、連携した徴

収に努めることと併せ、県の滞納整理機構の助言も得ながら進めていきたい。

水道事業会計

問 現金預金があれば企業債の繰り上げ償還に充てるなど、経営という観点で効果的な運用をしていくべき。

答 24年度には企業債の償還を行っており、引き続き、経営感覚を十分に磨き、効果的な運営をしたい。

問 約2000万円の未収金の内訳は何か。

企業の景気が良くないことから、滞納とならないように目配りをすべき。

答 現年分水道料金700万円、過年度分水道料金700万円、消費税還付金600万円が未収金の内訳であり、滞納金には百万円単位の大口がある。

病院事業会計

意見 今年度も4800万円と3年連続黒字決算となっており、あらゆる努力を重ねた経営努力が見受けられる。

全国的な医師・看護師不足など経営にあたって

は依然厳しい環境にある。

今後の医療の方向性をしっかり見極め地域の信頼に応える公立病院の使命を果たすため、効率的・合理的な経営により病院の実情にあった健全経営に努力されたい。



完成間近い恩志浄水場

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

赤坂みどり(浦富)

(敬称略)

第5回臨時議会

10月15日開催

訴訟上の和解

太田工業団地造成事業の用地取引の課税処分に対する損害賠償請求事件が和解しました。

災害時の要援護者リスト作成が大事

芝岡みどり議員

連携して構築に全力を挙げる

榎本町長



芝岡みどり 議員

芝岡 災害時の要援護者支援として、支え愛ネットワーク構築事業に着手しているが、要援護者の定義は。

町長 介護認定を受けている方、障害者手帳の身体・療育・精神、そして65歳以上の高齢者のみの世帯に属する方、みずから避難することが困難な方、日中は高齢者のみの世帯となる方を要援護者と考えている。

芝岡 乳幼児、妊婦、自力で避難することができない方も要援護者リス

トに加えるべきだ。

町長 幼児は台帳に登載をしない。

妊婦は、母子手帳を交付して災害当時に出産予定が近い方を把握している、安否の確認をさせていただく。

芝岡 要援護者リストの作成が支え愛ネットワーク構築事業の基本となると考える。

町長 自主防災組織、担当部署、社会福祉協議会などが連携し、台帳整備ネットワークの構築に全力を挙げていきたい。

芝岡 町民みんなが支え愛事業に参加する意識を持つことで、災害時に的確な判断を持って行動できると考えるが。

町長 要介護の人数が761人、障害者手帳の取得者の数が663人、一人暮らし高齢者世帯、二人とも高齢者というケースが1545人。行政として万全を期すが、

地域での日ごろからの見守り、支え合いから始まって、災害時のこの要援護の体制が集落内、あるいは隣近所ですっかりと構築をされることが何よりも肝要だ。

安心して移動ができる公共交通に

芝岡みどり議員

調査して取り組む

榎本町長

芝岡 交通実態に関するアンケート調査から4年が経過し、バス利用者からは都合のよい時間がない、運賃が高いという回答が多くあった。

その後どのように取り組んだか。

町長 地域の方の交通手段、要援護者の交通手段等々を整えてきた。

町営バス路線の統合、トスクとサンマートに買い物用の停留所を設け、バスの小型化をはかり、15人乗りを導入した。

芝岡 本町の運賃は高いが料金の改定はないか。

町長 公共交通そのものも福祉の分野にも入らざるを得ないという認識は持っている。

大変苦慮しているが、料金の改定は考えていない。

芝岡 時刻表の改定も検討するべきだ。

町長 よりよいダイヤになるように取り組んできているが、100パーセント応えるためにはオンデマンド交通が必要。今後、住民・業者の意向も踏まえながらダイヤ改正に取り組みたい。

芝岡 実証実験をして利用者には喜ばれる公共交通サービスを提供することが重要だと考える。

町長 調査をして取り組んでみたい。

芝岡 高齢者等移送サービス事業は見直しをすべき時期が来ているのではないかと思うが。

町長 今後も事業を維持し、改善をしたいが方針を変えることはできない。しっかりと検討したい。



住民支え愛活動研修会（10月4日 中央公民館）

ジオパークを生きし、継続的な環境保全を

河下哲志議員

重要な課題であり検討していく

榎本町長



河下 哲志 議員

河下 山陰海岸ジオパーク推進協議会が設置され、広域で取り組んでいる。

保護保全及び管理運営と活用の目的として94カ所のモニタリング調査の中で、状態、状況、活用の可能性はどのように評価しているか。

町長 調査は、町内13カ所の中でジオエリアとして浦富海岸・岩井温泉・駈馳山の3カ所になっている。

海岸の浸食、トイレ、自然歩道の一部通行止め、定期的な倒木の除去

外国語の標記など結果として取り組む中身が出てきた。

河下 継続的な保護保全活動の仕組みづくり、将来への道しるべはできたか。

町長 ジオパークには保護保全の規制はない。

国立公園法の適用がなされる中で、施設整備、保護保全を行う。

区域外についても、それに準じた制度づくりを国に要望していきたい。

河下 町環境美化に関する条例が施行されているが、作った経緯を聞く。

町長 県環境美化の促進に関する条例がつくられており、県から町独自の条例を作るよう働きかけ

もあり、これを契機に作った。

河下 環境美化条例から約1年半経つが、効果はどうか。

町長 監視員を2人雇い入れパトロール活動を行っている。パトロールの効果、条

例の効果は十分に発揮されているとは言いがたい。

河下 環境保全に関する具体的2事例、牧谷の渚交流館西側の廃屋と、県道55号線沿い北小学校の東側の建物の撤去はできないか。

町長 牧谷の物件は町として買い取りを含め検討したが、とても議会、町民の理解が得られる価格ではなく不可能であった。

北小学校通学路になっている県道沿いのガラス張りの建物は、窓の修繕だけでも考えている。それぞれ接触を試みて

いるが、所有者の変更もあり非常に苦慮している。

今後、法の改正や整備の状況を踏まえた上で対応したい。

河下 鴨ヶ磯、城原海岸あたりのごみのポイ捨て、バーベキューなどの規制強化はできないか。

町長 ポイ捨てやバーベキューは美化条例の対象であり、2万円以下の罰金という定めもある。観光協会が夏場に週2回海岸を公園法にかかわる清掃活動として巡回している。

バーベキューは届け出の義務づけができないか検討しているが、難しい。ジオパークにとって、海岸の保全にとっても重要な課題であり、よく検討をしたい。



浦富海岸（西脇海岸）

海岸の漂着ごみの対策は

日出嶋香代子議員

適切に対応している

榎本町長

民間業者と連携しながら地域住民の力を借りて処理をした。

日出嶋 山の手入れが不十分で保水力が低下し、流木などが放置されている。

ごみの処理が必要となる。この度の漂着ごみの対応は旧網代港が特に多かったように思うが、県、

フエンスやくいを設置するなど、川の上流で、少しでも対処する方法はないか。

町長 河川の役割の一つに、洪水を防ぐために水を流す役割があるので、スクリーンを付けたり、堰堤をつくったりは難しい。

県の責任分野なので、河床整備にしっかりと取り組むように要請している。

日出嶋 海岸の管理者に迅速に連絡するために看板に連絡先を書き込んだりはできないか。

町長 漁業関係者や自治会の関係者は知っているとと思う。新たに看板設置は考えていない。

ジオパークの再認定にはおもてなしの心が大事だ

日出嶋香代子議員

私も同感だ

榎本町長

日出嶋 本町が再認定を受けるために、更なる魅力を引き出さなければならぬ。

そのために、おもてなしの心が大事だと思うがどうか。

しい。

町長 なるべくそのような体制が組めるように検討する。

町長 私も同感だ。外国の方を含めた観光客を大切にすることはジオパークの発展活用が一番欠かせない部分と思う。

本町では子どもたちが頑張っており、鳥取県下で初めてのユネスコスクール認定を受けた。

日出嶋 外国の客も今後は多くなると思う。語学の得意な職員を増してほ



日出嶋香代子 議員

日出嶋 異常気象によるゲリラ豪雨は日本のあちこちで災害をもたらした。

本町でも、大雨による漂着ごみが、海岸線に多数確認された。

国立公園であり、ジオパークとなっている本町の海岸の漂着ごみは迅速に片付ける必要があるが、対応はできているか。

町長 本町の海岸線は、漁港があり、港灣があり、国立公園もある。

美しい景観を維持するためには、海水浴シーズンだけでなく、定期的に



漂着ごみ（浦富海水浴場）

道の駅の進捗が遅く情報不足

松井俊明議員

広く町民が関わり計画を煮詰めたい

榎本町長



松井 俊明 議員

松井 町長は、いわみ道の駅を本当に作りたいと思っているのか。

町長 道の駅は、町の観光や1次産業にとってぜひ作るべき施設だと思っている。

松井 3月の答弁で専門業者を通じて市場調査を急ぐと言っていた。

これだけ大きな事業で市場調査をせず、概算の金額や企画も示されていない状況は、町民に対して不親切だと思う。この半年の状況は。

町長 今年度は、実施設計や直売所の農家や、出店業者、加工グループの募集などがスケジュールだが、27年春の開業には遅い進捗状況で、申し訳ないと考えている。

町が全て仕上げてもらう手くいかないと思っております。検討委員会だけでなく広く町民にも関わってもらい、計画や構想を煮詰めていきたい。

松井 運営においてリスクを負うようなことはすべきでない。と言っているが、運営上リスクが発生した場合、一般財源での補てんを心配する。町民への理解をどう求めるのか。

町長 リスクを避ける方法としては、できれば公設民営でなければ難しい

と考えている。
赤字を想定した運営・経営形態を組む考えはない。

松井 私の考えでは、6〜7億円の事業費になり、いろいろな角度から経済効果などもあるが、

収支に対する分岐点をどう考えているか。

町長 損益分岐点は、直営が前提であっても求める力がない。

指定管理では、委託の方法。第3セクターや民間業者などの運営でも町

側で分岐点の推計をかけるのは非常に困難。実際の経営での分析や最終段階での品物を売る計画がなければ難しい。

松井 経営に関しては、町長が決まったら中心になって計画や経営体制を

練ってもらうと聞いていたが。

町長 駅長は、中心になつて計画づくりに専念してもらうが、駅長が全てを決めるわけではなく、民間の経験や感覚を尊重し、参考にしていきたい。

リーダーシップに関しては、町がとらなければならない。

松井 3月の答弁でJAトスクのための道の駅にはしないと断っているが何を意味しているのか。

町長 国交省は、情報発信やトイレ、駐車場を整備するが、他のサービス施設は、トスクの看板を変えるだけでは認められない。

トスクをそのままにして、前の空き地を道の駅として買収するような進め方はできないという意味だ。



いわみ道の駅イメージ図

4月消費税増税は中止すべき

田中克美議員

増税はやむを得ないと思う

榎本町長



田中 克美 議員

田中 数か月の経済状況で消費税増税を決めるのは無謀だと思うが、認識は。

町長 判断は難しいと思うが、社会保障全体、国の債務を考えると全面的に賛意を示すものではないが、やむを得ない。

田中 消費税の負担が増えれば住民サービスに使う町財政が少なくなるが、町の支払う消費税と入ってくる地方消費税交付金の数字の公表を求め

町長 町民への公表は最も理解しやすい方法を考え広報等に掲載することを検討したい。

田中 増税により町と町民が支払った消費税は町外へ流れ町内を循環するお金が少なくなると思うが。

町長 地域内経済に回る税金という意味では、100パーセントそうではないが、その傾向が強いと思う。



買い物風景

東部広域行政管理組合のごみ焼却発電は共通認識か

田中克美議員

正副管理者会議で初めて決定された

榎本町長

田中 施設規模の前提となるごみ排出量が人口減少による推計であり、1市4町の減量計画にもとづいていないが。

町長 町は、減量化を参酌しながら規模決定をとの立場できた。稼働まで減量に取り組むが、安全数値をとる必要があるとの説明があった。

田中 事業系の可燃ごみを焼却対象にしているが、組合として対応を検討すべきと思うが。

町長 組合の考え方は、事業系可燃ごみは一般廃棄物の枠の中で自治体の責任で処理をやらなければならぬ。

田中 汚れたプラスチック

クを「焼却発電のエネルギーとして活用」とあるが、どこで分別されるのか、出す側も受け入れる側も分別しなくていいと

町長 分別に取り組んでいる町としては受け入れがたいことで、3町に働きかけ、分別は現行を基本とすることが受け入れられたと思っている。

田中 報告書では焼却発電が既定方針と読み取れるが、正副管理者の共通認識か。

町長 今回の正副管理者会議が、ごみ焼却発電に取り組むことを初めて決定した場であったと受け取っている。

田中 公設民営が望まし

いとしたことへの見解は。

町長 懸念も確かにあると私自身は考えている。

田中 地元対策として高額の公金投入の恐れがあるが見解は。

町長 迷惑料として支払われる嫌いがあるので、そういったことは避けるべきであると思う。

◆田中克美議員のその他の質問

- ・ 地域おこし協力隊について
- ・ TPP交渉及びアメリカとの2国間協議について

還暦式に参加した 皆さんの声

◎ 還暦（式）を迎えた
感想は

まだまだ若い人たちには
負けませんよ。（女）

皆さんを見ていて、まだ
まだ若く、力を出し合え
ばすごい力になると感じ
ました。（女）

現在、会社勤務している
ので20代〜40代の社員と
日々付き合っていると、
自分の年のことは忘れて
いるが、足腰の衰えは感
じている。気持ちは40代
後半〜50代前半（男）

一つの区切りを無事に迎
えることができ感謝して
いる。社会的に経験を還
元することが大切だと
思った。（女）

健康に注意し元気に過ご
したいと思います。（男）

もう還暦という実感はあ
まりない。（女）

これから自分自身で将来
のことを考えて目標を立
てていきたい。（女）

60歳あつという間でし
た。今後は自分の時間を
大切にしながら大人の生
活をエンジョイしてい
たい。（女）

還暦を迎えられたことに
感謝します。（男）

ゆっくりしたい。（男）

大変良かった。またした
い。（女）

◎ 岩美町へのメッセージ

ジオパーク大切にしてほ
しいです。（女）

自然が何よりの宝物だ
と思います。観光コース、
海の幸を確立化させて、
大いにアピール。そして、
岩美町の収入源にもなる
方法を考えていただきた
い。（女）

岩美中学を卒業して45
年。岩美町に立ち寄るこ
とはあったが、出身地と
して意識したことは少な
かった。今回この式に呼
んでいただき感謝してい
る。浦富は海岸がきれい
で岩美中学時代はよく海
に泳ぎに行った。（男）

美しい風景だけでなく、
子どもたちが自らを鼓舞
して発信できるように育
んでほしい。（女）

活気ある町づくりになる
ようみんなで頑張ろう。
（男）

これからも住みやすい町
に皆でしていきましょ
う。（女）

これからも皆様がより良
い住みやすい町になる
ように頑張りたいです。
（女）

風光明媚な資源をいつま
でも大切にしていきなが
らも、新しい感覚も取
り入れていってほしい。
（女）
ますますの発展を祈念し
ます。（男）
もっと人口を増やせ。
（男）

ますます岩美町が栄えま
すように。（女）

編集後記

大型台風が続き、被
害は予想できないもの
となっております。気象予
報に注意し、早めの避
難など、日頃から災害
に対する意識を身につ
けて行きたいものです。
今年度から、9月定
例会中に決算審査を行
うことを決め、いつもよ
り長期間の定例会とな
りました。

議会だよりも、決算
審査の流れがわかりや
すいようにと、工夫を
して編集しております
がいかがでしょうか。皆
様からのご意見、ご批
評をお待ちしています。

議会だより調査特別委員会委員

議長	津村 忠彦
副議長	船木 祥一
委員長	芝岡みどり
副委員長	田中 克美
委員	柳 正敏
委員	竹中 一浩
委員	澤 治樹
委員	松井 俊明
委員	河下 哲志
委員	田中 伸吾